

平成31年1月吉日
大正大学カウンセリング研究所

子育て支援研修会 2018のご案内

当研究所では、大正大学カウンセリング研究所は、開設以来50年にわたり、一貫して「外来相談」「臨床研究」「臨床教育」「研修」を担う機関として活動してまいりました。平成24年度より、研究プロジェクトのひとつとして、子育て支援に関する実践研究を継続しております。

毎年、地域でご活躍されている専門家の先生方ならびに、現在子育て支援に関心のある学生さんを対象に、研究の一環として当研究所で行っている親子関係改善プログラム（別紙をご参照ください）の実践の一端をご紹介します研修会を開催しております。

今年度は、暴言や威圧や暴力の問題を抱える家族を回復に導く治療プログラム AF-CBT（家族のための代替案：認知行動療法）の紹介と実践の報告をいたします。それぞれの現場で、少しでもお役に立てる情報を提供させていただければ幸いです。

ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2019年2月25日（月） 14:00～16:00（受付 13:30より）

参加費：無 料

会場：5号館5階 551 教室

お申し込み：下記 URL にてお申し込みください （締切 2019年2月15日）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdn0I3yLIPMLUjubBAAJFpPwWo-o8ce2XZF15F0tRHYUeJBHA/viewform?c=0&w=1>

詳しくは、大正大学カウンセリング研究所 HP
(http://www.tais.ac.jp/library_labo/counseling/) をご覧ください。



【お問い合わせ】

大正大学カウンセリング研究所

研修会担当：黒田・西牧・保科

電話：03-5394-3035

（月～金 9:00～17:00）

FAX：03-5394-3041

【プログラム】

- 14:00 所長挨拶
- 14:05～15:00 AF-CBT 導入の経緯とプログラム紹介
講 師：犬塚 峰子（本学客員教授・AF-CBT Japan 代表）
- 15:00～15:15 一 休 憩
- 15:15～15:45 AF-CBT の実際
- 15:45～16:00 質疑応答

*プログラムの進行上、内容を変更する場合がございます。ご了承ください。

<当研究所で行っている親子関係改善プログラムの概要>

	① PCIT (親子相互交流療法)	② パARENTトレーニング	③ AF-CBT(家族のための代替案: 認知行動療法)
目的	親子関係をよりよいものとするコツや工夫を学び、家族の抱える問題の解決を目指す		
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子 (子どもの年齢:2～7歳) ・DV 被害母子、虐待や養育不全が起きている親子、問題行動がみられる子どもとその親。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親 (子どもの年齢:4～10歳) ・発達障害のある子どもの親。 子育てに困難を感じる親。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子 (子どもの年齢:5～17歳) ・身体的虐待など不適切な養育がみられる親子、問題行動や攻撃的行動のある子どもとその親。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で実施。 ・効果的なほめ方、指示の出し方の工夫を学ぶ。 ・面接室で子どもと遊ぶ中で、学んだスキルを実践する。その際、親にはトランシーバーを利用して直接アドバイスや、スキルを上手にできていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで実施。 ・効果的なほめ方、指示の出し方の工夫を学ぶ。 ・ロールプレイを多用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で実施。 ・暴力や暴言に代わるよりよい方法(代替案)を見つけ、実践する。 ・親子が家でより安全に過ごすための様々なスキルを学ぶ。 ・子どものトラウマからの回復に取り組む。
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が遊ぶ場面に直接働きかけるユニークな方法(ライブコーチ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで実施することで、親同士が学びあい、支え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国で身体的虐待への有効性が実証された数少ないプログラムの1つ